

TOWER BAKERY

タワーベーカリー株式会社

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年4月1日 ~ 2024 年3月31日)



タワーベーカリー株式会社
本社・越谷工場



発行日: 2024年10月30日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8～11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	12
外部からの環境上の苦情・要請等	12
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	13
これまでの環境活動の紹介	13

TOWER BAKERY

安心・安全な
パンをお客様へ

環境経営方針

<基本理念>

タワーベーカリー株式会社は昭和産業グループ経営理念である「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」のもと、パン製造事業と関連するESG視点での社会的課題解決の取組みを推進します。

<基本方針>

1. 企業活動について環境負荷の自己チェックを行い、重要な項目に関しては、技術的、経済的に可能な範囲で環境目標を設定するとともにこれらを見直して継続的改善を図ります。
2. 環境関連の法規則・協定等を遵守します。
3. 環境への負担をできる限り少なくし、循環を基とする企業活動を目指します。
 - ①重点的に電気の使用量の削減を行い、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
 - ②3R活動を推進し、食品ロス・廃棄物の削減に努めます。
 - ③啓蒙活動を推進し、節水に努めます。
4. 5S・現場改善を日々行い、効率的な・環境負荷の少ないプロセスの工場を推進します。
5. 全従業員に、計画的に環境教育を実施し、環境経営方針の周知徹底を図ります。
6. 環境保全活動に積極的に参加し、地域の環境改善に貢献します。

制定日：2020年6月1日

改定日：2024年6月1日

代表取締役社長 国領 順二

□組織の概要

更新日：2024年8月30日

- (1) 名称及び代表者名
タワーベーカリー株式会社
代表取締役社長 国領 順二
- (2) 所在地
本社・越谷工場 埼玉県越谷市西方2986-2
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 工場長 山名 慎吾 TEL:048-985-7070(代表)
担当者 設備保全課課長 米本拓也 TEL:048-985-7136(設備保全課直通)
- (4) 事業内容
パン及び冷凍生地 of 製造・販売
- (5) 事業の規模
売上高 65 億円

		本社・越谷工場
従業員	名	402 名
延べ床面積	m ²	13200 m ²
- (6) 事業年度 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

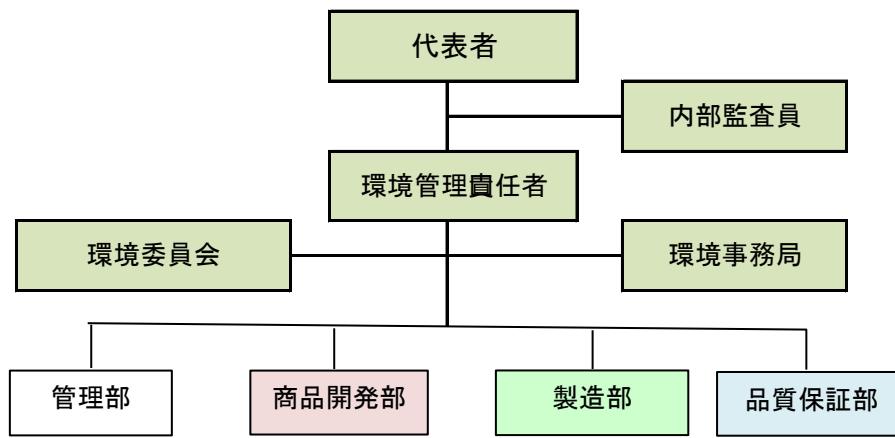
登録組織名：タワーベーカリー株式会社
対象事業所：本社・越谷工場
対象外：なし
活動：パン及び冷凍生地 of 製造・販売

□事業や製品(商品)の紹介

製造品目 菓子パン・総菜パン・食事パン・ドーナツ・冷凍生地 of 製造
販売エリア 埼玉県・東京都の(株)セブン-イレブン・ジャパンのお店様
生産量 パン・ドーナツ 1日約125,000食
冷凍生地 1日約240,000食



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



代表者	: 国領	管理部	責任者: 立原、推進者: 黒田
内部監査員	: 塚田、岸野、立原、村岡	商品開発部	責任者: 堀井、推進者: 池田
環境管理責任者	: 山名	製造部	責任者: 山名、星野、 筑後、小美濃、米本
環境事務局 局員	: 米本、天川、黒田、金井	品質保証部	責任者: 古田、推進者: 嶋下

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長 工場長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

資格取得者在籍数

- ・ エネルギー管理士: 1名
- ・ 第三種冷凍機械責任者: 6名
- ・ 冷媒フロン類取扱知見者講習終了: 5名
- ・ 第一種衛生管理者: 3名
- ・ 乙種第4類危険物取扱者: 2名

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	7,623,059	7,087,765	7,110,710	6,491,229	5,550,600
廃棄物排出量						
一般廃棄物排出量	kg	4,800	9,760	9,020	9,070	9,190
産業廃棄物排出量	kg	1,953,133	1,704,079	1,735,442	1,601,704	1,229,548
内、食品廃棄物						
発生量	kg	855,860	700,946	756,676	663,820	518,217
発生抑制量		1,074,100	1,063,500	1,048,800	1,209,700	1,231,400
再生利用量		855,860	700,946	756,676	663,820	518,217
熱回収量		0	0	0	0	0
減少量		0	0	0	0	0
再生利用以外の量		0	0	0	0	0
廃棄物処理量		0	0	0	0	0
食品再資源化実施率		100%	100%	100%	100%	100%
水使用量	m ³	97,006	84,053	77,987	74,886	70,273

※二酸化炭素排出係数 0.455 kg-CO₂/kWh 東京電力エナジーパートナー(株)の調整後の係数(2019年)
 0.455 kg-CO₂/kWh 東京電力エナジーパートナー(株)の調整後の係数(2020年)
 0.441 kg-CO₂/kWh 東京電力エナジーパートナー(株)の調整後の係数(2021年4月)
 0.473 kg-CO₂/kWh (株)シナジアパワーの調整後の係数(2021年5月以降)
 0.441 kg-CO₂/kWh 東京電力エナジーパートナー(株)の調整後の係数(2022年5月)
 0.390 kg-CO₂/kWh 東京電力エナジーパートナー(株)の調整後の係数(2023年)

※一般廃棄物排出量 2019年9月より実施



□環境経営目標及びその実績

項目	年度	2019年	2022年	2023年		評価	2024年	2025年	
		(基準年)	(実績)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)	
電力による 二酸化炭素削減	千kg-CO2	5,040.7	4,152.3	4,082.9	3,531.0	○	3,478.0	3,427.6	
	基準年度比	2019年	82%	81%	70%		69%	68%	
	原単位 tCO2/百万円	0.627	0.599	0.500	0.545	×	0.433	0.426	
都市ガスによる 二酸化炭素削減	千kg-CO2	2,579.6	2,335.8	2,321.6	2,015.4	○	1,986.3	1,960.5	
	基準年度比	2019年	91%	90%	78%		77%	76%	
	原単位 tCO2/百万円	0.321	0.337	0.285	0.311	×	0.247	0.244	
自動車燃料による 二酸化炭素削減	千kg-CO2	2.9	3.1	3.1	4.2	×	4.1	4.1	
	基準年度比	2019年	109%	108%	146%		145%	144%	
	原単位 kg-CO2/百万円	0.355	0.448	0.38	0.643	×	0.515	0.511	
二酸化炭素排出量合計	千kg-CO2	7,623.1	6,491.2	6,407.6	5,550.6		5,468.4	5,392.2	
廃棄物総排出量の削減	千kg	1,976.1	161.1	1,600.6	1,238.7	○	1,225.2	1,205.4	
	基準年度比	2019年	82%	81%	63%		62%	61%	
	原単位 千kg/百万円	0.246	0.232	0.195	0.191		0.152	0.150	
食品廃棄物の削減	千kg	856.1	663.8	659.2	518.2	○	513.6	505.1	
	基準年度比	2019年	78%	77%	61%		60%	59%	
	原単位 千kg/百万円	0.107	0.096		0.080		0.064	0.063	
食品廃棄物	リサイクル率	100%	100%	100%	100%	○	100%	100%	
	水道水の削減	千m ³	97.0	74.9	72.8	70.3	○	66.0	65.0
	基準年度比	2019年	76%	75%	69%		68%	67%	
原単位 千m ³ /百万円	0.012	0.011	0.009	0.011	×	0.008	0.008		
化学物質の適正管理			<ul style="list-style-type: none"> ・PRTRを含む物質の適正管理 ・代替物質の検討 						
自らが生産販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善			<ul style="list-style-type: none"> ・グループ会社で冷凍生地を集中生産。 						

※目標値は、前年基準年比実績のマイナス1%に設定。

将来に向けた取り組み目標(2030年・2050年)

○二酸化炭素排出に関する長期目標

・2030年二酸化炭素排出量を2013年比で46%以上削減(昭和産業グループ環境目標に基づく)

※2023年度の二酸化炭素排出量の実績は、2013年比37%削減

⇒2024年度以降、下記項目の実施により目標を達成させる予定。

- ・前年比実績値より1%削減の企業努力(2030年度までに二酸化炭素4%分削減)
- ・二酸化炭素排出量計数の低い電力会社と契約
- ・非化石証明書付き再エネ電力購入を検討

・2050年二酸化炭素排出量を0を目標にします。(セブン&アイHLDGS.グリーンチャレンジ2050に基づく)

・省エネ+太陽光発電+非化石証明書の利用により目標を達成させる予定。

年度	項目	単位	数値
2013年度	二酸化炭素発生量	kg-CO2	8,853,820
2030年度	二酸化炭素発生量	kg-CO2	4,781,063
2050年度	二酸化炭素発生量	kg-CO2	0

○食品廃棄物に関する長期目標

・2030年に食品廃棄物発生量を2018年度比で30%以上削減(昭和産業グループ環境目標に基づく)

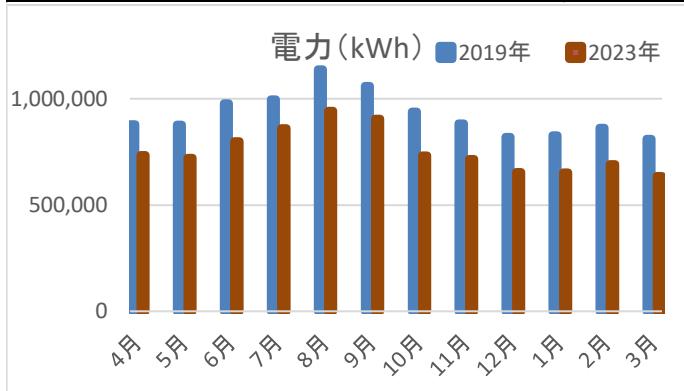
年度	項目	単位	数値
2018年度	食品廃棄物発生量	kg	794,000
2030年度	食品廃棄物発生量	kg	555,800

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	コンプレッサーの圧力設定変更、不要な電気を止める取組を会社全体で実施。タワー棟キュービクルの更新、補助金利用した空調機更新を実施。気温上昇の影響で電気使用量が多い月もあったが、電力によるCO2排出量の目標を単月及び累計でクリアすることができた。引き続き巡回や設備更新を行いCO2排出量削減を目指す。
・エアコンフィルター清掃	○	
・不要照明の消灯	○	
・省エネ巡回(温度設定・エア漏れ・漏電の確認)(設備保全)	○	
・コンプレッサー圧力設定変更(製造部)	○	
・タワー棟キュービクルの更新(設備保全)	○	



取組紹介欄

コンプレッサー圧力の設定変更(0.52MP⇒0.50MP)

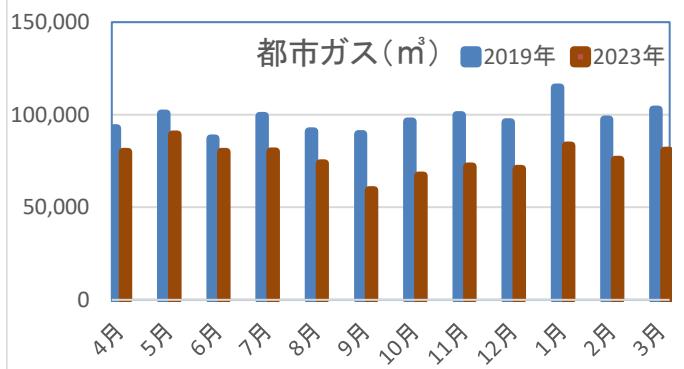


タワー糖キュービクルの更新



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	880,188	878,508	978,696	997,290	1,137,636	1,059,756	939,210	884,028	820,878	827,394	863,706	811,062	11,078,352
2023年	734,862	723,012	799,272	862,248	942,786	906,708	732,942	716,442	654,918	652,656	691,872	636,158	9,053,876

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	ボイラー廃熱回収装置の設置、オープン停止・巡回を行った。年間を通じてガスによる累計CO2排出量の目標をクリアすることができた。引き続き巡回や設備更新を行いCO2排出量削減を目指す。
・閑散期オープン停止	○	
・省エネ巡回(燃焼の確認)設備保全	○	
・ボイラー 廃熱回収装置 設置設備保全	○	



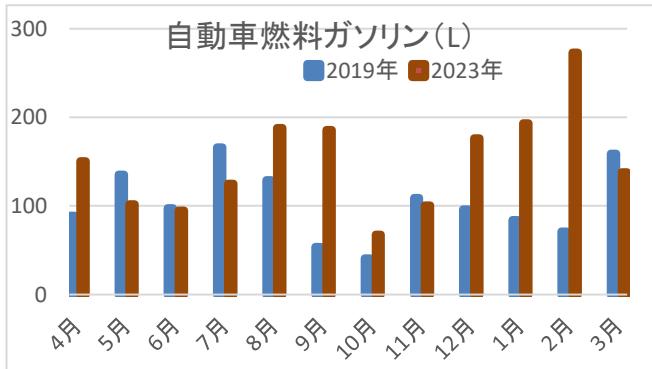
取組紹介欄

ボイラー廃熱回収装置の設置



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	92,652	100,544	87,187	99,412	90,942	89,600	96,318	99,798	95,980	114,618	97,340	102,828	1,167,219
2023年	79,886	89,392	79,841	80,240	73,835	59,325	67,033	71,952	70,820	83,438	75,593	80,601	911,956

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	ガソリンの購入管理実施。2022年度にハイブリット車に変更済み。コロナ禍により感染防止のため移動を優先的に自動車移動。他社との交流が活発になった。などの理由により使用量が増加。目標をクリアできなかった。今後はエコ運転の推進をおこないCO2排出量削減を行う。
・毎月のガソリン購入量管理	○	

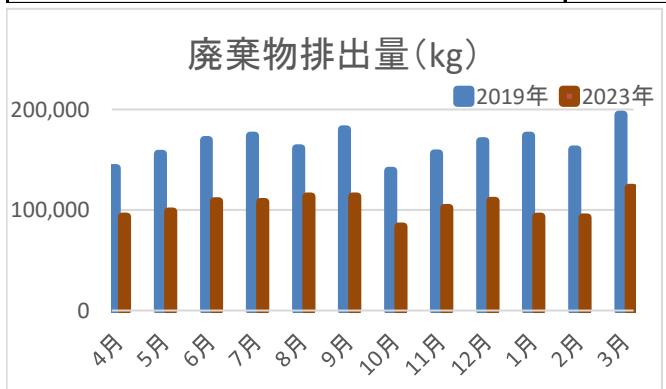


取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	89	135	97	166	129	54	41	109	96	84	71	159	1231
2023年	150	102	95	125	188	186	68	101	176	193	273	138	1795

廃棄物総排出量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	基準年比63%を達成。廃プラとして廃棄していた紙袋・紙管を分別し有価物回収。計量用ビニール袋のサイズ変更に取り組み廃棄物を削減することが出来た。累計廃棄物排出量の目標はクリアできた。今後も分別を強化し有価引取・リサイクルできるよう取り組む。
・分別回収の啓蒙活動	○	
・ビニール袋サイズ変更	○	
・紙類の有価物回収開始	○	
・終売品包材の有価回収開始	○	

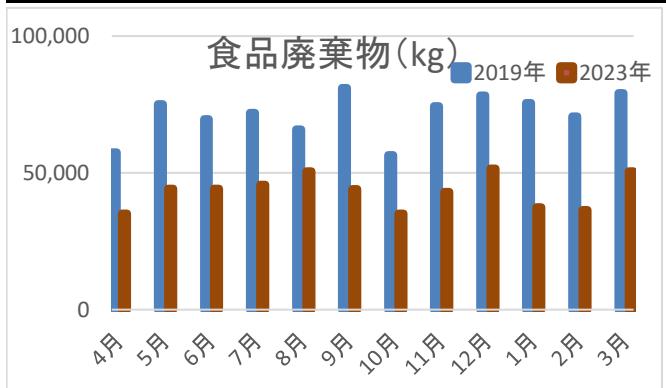


取組紹介欄
計量用ビニールサイズの変更

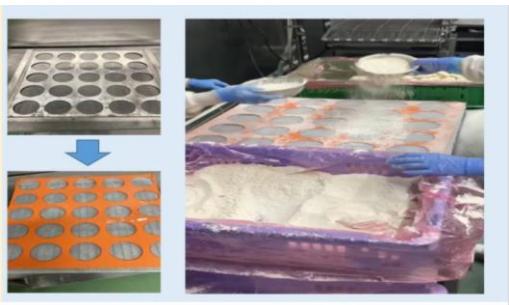
青 33μ	1000 (500) × 850mm	→	33μ	980 (490) × 830mm
青 20μ	300 × 450mm		20μ	270 × 420mm
青 20μ	450 × 650mm		20μ	450 × 640mm
青 30μ	850 × 800mm		30μ	830 × 800mm
赤 25μ	300 × 450mm		25μ	270 × 420mm
赤 25μ	520 × 500mm		25μ	510 × 500mm
赤 25μ	450 × 650mm		25μ	450 × 640mm
緑 50μ	550 × 550mm		50μ	540 × 540mm

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	141,689	156,040	169,751	173,935	161,487	180,311	139,005	156,430	168,484	174,059	160,083	194,809	1,976,083
2023年	93,283	98,410	108,698	108,001	113,529	113,622	83,503	102,220	109,160	93,617	92,638	122,057	1,238,738

食品廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	基準年比61%を達成。終売残の削減および余裕数の削減の実施。作業の工夫により廃棄削減を実施。引続き生産計画の見直し、生産の工夫により食品ロス削減を実施していく。
・生地捨てBOX リターン生地・終売残削減	○	
・ロスパン 余裕数の見直し	○	

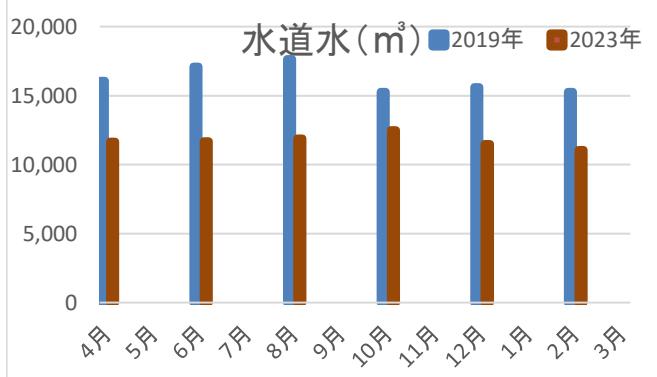


取組紹介欄
アルミ製から曲がる素材に変更して手粉を無駄なく回収



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	57,520	75,190	69,614	71,972	65,903	81,090	56,531	74,445	78,350	75,543	70,674	79,228	856,060
2023年	35,117	44,206	44,196	45,733	50,567	44,106	35,059	43,130	51,640	37,405	36,468	50,590	518,217

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	基準年比72%を達成。水冷式製氷機の水再利用タンクの設置。引続き冷生地製造課と焼成製品課二次加工で啓蒙活動を実施していく。
・啓蒙活動(冷生地製造課)	○	
・啓蒙活動(二次加工(焼成製品課))	○	
・S3F製氷機水冷の水再利用(設備保全課)	○	



取組紹介欄

啓蒙化活動の実施



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	16,060	0	17,100	0	17,657	0	15,281	0	15,630	0	15,278	0	97,006
2023年	11,653	0	11,691	0	11,883	0	12,490	0	11,489	0	11,067	0	70,273

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・アルカリ電解水生成装置導入	○	PRTR使用薬品をアルカリ電解水に一部変更。購入量管理を実施。引続き代替え物質の検討・購入管理を行っていく。
・製造現場使用薬品の購入管理	○	
・使用薬品の購入管理	○	



自らが生産販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・冷生地:グループ会社による集中生産	○	サステナブルな素材を使用した商品開発。冷生地で集中生産。今後も継続的に行っていく。
・サステナブルな素材を使用した商品開発	○	



年間活動計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・環境教育(環境方針、目標、活動計画の周知)	○	年間活動計画に沿って、活動が行われた。今後も計画的に活動を進めていく。
・定期的実施(火災対応訓練、油漏れ訓練)	○	
・内部監査	○	
・会社周辺の清掃活動(ロードサポート)	○	



工場取組紹介

毎月1回 近隣清掃



＜強アルカリイオン電解水 生成装置導入＞



自動生成タイプ
ZKリミテッド

エコキャップ運動推進中

New **CSR活動のお知らせ**

CSR活動の一環として
ペットボトルキャップを回収し、
①世界の子どもにワクチン購入
②地球温暖化の阻止
に役立てます。

回収箱は、食堂内ペットボトル用
ゴミ箱の並びに設置してあります

ご協力お願いいたします！

エコキャップ
累計個数: 54,309個
(2023/11/2 時点)

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（動植物性残さ、廃プラ、汚泥、廃油等）
食品リサイクル法	食品廃棄物
プラスチック資源循環法	プラスチック使用製品産業廃棄物等
騒音規制法、埼玉県生活環境保全条例	空気圧縮機、送風機
振動規制法、埼玉県生活環境保全条例	空気圧縮機
水道法	受水槽
下水道法	排水処理設備
省エネ法	特定事業者
温暖化対策推進法	エネルギー使用量1500kℓ以上
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
毒物及び劇物取締法	試薬類、洗浄殺菌剤
自動車NOx・PM法	自動車
消防法	危険物保管
悪臭防止法	敷地境界、気体排出口、排水
アイドリング・ストップ	自社業務用車、駐車場利用者
顧客要求事項	HACCPによる衛生管理、環境マネジメントシステムの運用

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率は達成しています。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

環境上の苦情・要請は発生しておりません

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年10月20日	■実施場所： 本社・越谷工場
■参加者： 出勤者全員	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 ・ 応急救護訓練 ・ 安全防護訓練	
■評価： 避難指示放送から点呼確認まで3分50秒であった。初期消火訓練は18名が参加。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 2023年12月27日	■実施場所： ドーナツフライヤー室
■参加者： 合計7名 社員・従業員（油取扱従事者）	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 初期対応訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 ・ 流出事故対応、通報訓練	
■評価： 目的および作業方法について理解が得られた。手順書を多言語で作成。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月15日

環境改善活動の取り組みを展開するにあたり、エコアクションを活用して計画に基づき活動ができていると感じます。

具体的には、二酸化炭素の削減に於いてタワー棟のキュービクルの更新、空調機の更新などの設備的な取り組みやコンプレッサーの圧力調整や省エネ巡回による啓蒙活動により会社全体の意識が高まり目標を達成することができた。
また廃棄物については、廃プラとして処理していた紙袋・紙管を分別することで有価物に代えることができ、製造部での計量用ビニール袋も見直すことで、サイズを縮小し排出量を削減できた。

総合的に目標を達成できたが、ガソリン使用量については未達の為、エコドライブの推奨を行う。
来年度は、今年度の実績を踏まえ計画を設定し全社一体となり目標達成できるよう、さらなる環境改善に取り組んでいきたいと思います。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	実績を踏まえて見直すこと
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	

□これまでの環境活動の紹介

